

# 行財政改革実施計画・行動計画票

No.	19	[平成18年5月27日提出]			
基本方針	財政の健全化	担当課名	財政課		
重点項目	歳出削減に向けた主要な取り組み (5) 公債費の抑制				
取組項目	起債の新規発行の上限設定				
経過・現状 (H17.4.1現在)	・財政健全化計画において、普通建設事業に係る町債の借入上限を7億円と設定した。 (H17.12.27) ・平成17年度起債発行額 554,000千円				
行 動 概 要	目標	起債の新規発行の上限設定。 (目標年次) 平成18年度			
	期待される効果	起債上限額の設定及び交付税措置の有利な起債を活用することで、公債費の抑制を図る。			
	必要性・ 問題点	(問題点) ・年度途中における緊急性の高い事業への対応。 ・財政健全化計画においての一財ベース1億円との連動。 ・一般会計債のみの上限であること。			
	対象	全職員			
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計( 0千円)	
	17年度 (実績)	・普通建設事業に係る町債の借入上限を7億円と設定した。 発行額 542.9百万円(3月末時点) 過疎債 266.4百万円 辺地債 59.1百万円 合併特例債 178.0百万円 その他 39.4百万円		目標 数値	新発債発行額7億円以内 中期財政見通し収支計画 1024.1百万円
	18年度	当初予算 639.3百万円 要望額 590.1百万円(6月末時点) 過疎債 205.6百万円 辺地債 42.2百万円 合併特例債 316.1百万円 その他 26.2百万円		効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
	19年度	/		目標 数値	新発債発行額7億円以内 中期財政見通し収支計画 507.7百万円
	20年度	/		効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
	21年度	/		目標 数値	新発債発行額7億円以内 中期財政見通し収支計画 418.9百万円
効果	/		効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)	
関係例規等	名称			改正時期	